

共に手を取り！　～「参加」から「参画」へ～



現在、本校では「北地区協議体」の皆様、また「ちょボラ会」の皆様がボランティアとして授業のサポートを行ってくれています。６年生の音楽科における合唱指導や、家庭科のナップサックづくり、２年生のかけ算カードづくりなど、地域の皆様の温かい支援によって、子どもたちの学びがより一層深まっています。学校に寄り添い、共に手を携えていただいていることを、大変ありがたく思っております。

さて、来月には子どもたちが練習を重ねている「ドレミファ発表会」が開催されます。各学年とも日頃の学習成果を披露しようと、声を掛け合いながら一生懸命練習に取り組んでいます。

学校で行う行事は、子どもたちが成長する大切なステップであると同時に、学校とご家庭、地域が思いを一つにする貴重な機会であります。一方、行事について私は「完成した発表をお見せして、満足していただく」ためだけのものではないと考えております。単に「見る・受け取る」という立場から「もっとこうしてほしい」と結果だけを求めるのではなく、**子どもたちが悩みながらも努力している過程（姿）を、温かく応援していただくこと**が大事だと思っております。

だからこそ私たちが大切にしたいのは、行事を見守る**「参加」**から、一歩進んで共に成長を支える**「参画」**へという視点です。**「参画」**とは、**子どもたちの挑戦を「一緒に温かく創り上げていこう」「そのために私たちにできる手助けは何か」と、みんなで成長のプロセスを分かち合う姿勢**のことです。



決して特別なことをお願いしたいわけではありません。行事や日々の教育活動を通して、学校と保護者の皆様が**「共に子どもを育てるパートナー」として温かい関係を築いていくこと**こそが、子どもたちにとって一番の安心感と笑顔につながると信じております。

ボランティアの皆様が示してくださっている温かい支え合いの輪を、ぜひ保護者の皆様とも広げ、**「共に手をとり！」**合っていければ幸いです。今後とも温かいご支援をよろしくお願いいたします。

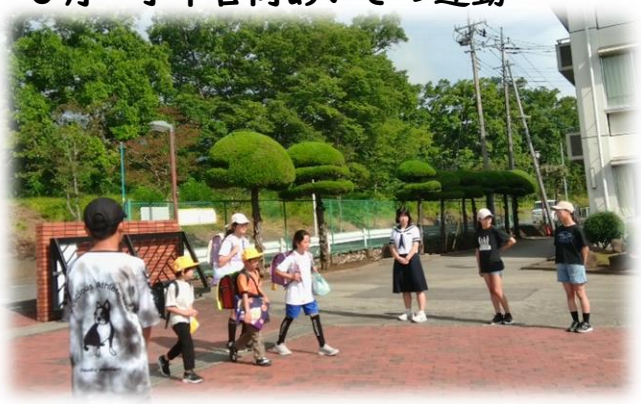
憧れをチカラに　～小中一貫教育で育む子どもたちの成長～

南アルプス市では、義務教育９年間を見通した「小中一貫教育」を推進しており、本校でも櫛形中学校区（４小学校・１中学校）で連携した取り組みを積極的に進めています。小中学校の垣根を低くし、環境の変化による戸惑いを防ぐ（中一ギャップの解消）とともに、児童生徒の交流を通して憧れと思いやりの心を育む大切な取り組みです。本校でもこれまで、様々な交流を展開してきました。

６月には卒業生である櫛形中の生徒が来校して「小中合同あいさつ運動」を行い、９月の陸上記録会の前には、中学校の陸上部員が熱心に練習を指導してくれました。また、１０月２７日には各校の児童会・生徒会がそれぞれの取り組みをオンラインで発表し合って交流を深め、２９日の「小中合唱交流会」では、櫛形中３年生の迫力ある素晴らしい合唱を披露してもらいました。中学生の堂々とした姿や美しい歌声を間近で体験した子どもたちは、「中学校に行ったらこんなすごいことができるんだ」と目を輝かせ、目指すべき将来の姿として強い憧れを抱いています。

１１月初めには、地域の方々も巻き込んだ２回目の「小中合同あいさつ運動」を実施する予定です。これからも中学校や地域の皆様としっかりと手を取り合い、９年間を見据えて、子どもたちを育てる小中一貫教育に取り組んでいきます。

６月　小中合同あいさつ運動



９月　櫛形中陸上部の陸上指導



１０月　オンライン取り組み交流



１０月　小中合唱交流会





学校のひろばのページも随時更新中！

学校 HP の QR